

[010]九州大学生体防御医学研究所年報 : 1995年

<https://hdl.handle.net/2324/2195860>

出版情報 : 九州大学生体防御医学研究所年報. 10, pp.1-, 1996. Medical Institute of Bioregulation, Kyushu University

バージョン :

権利関係 :

Ⅱ 生体防御医学研究所主催セミナー

生体防御医学研究所セミナー

本研究所主催のセミナーを昭和60年度より開催しており，平成7年度も引き続き遺伝学部門がセミナー係を担当した．平成7年1月より12月までに第169回から第179回までのセミナーが行われ，講演者および演題は次の通りであった．

第169回 平成7年2月7日（火）

長 田 重 一 先生（大阪バイオサイエンス研究所）

“Fas と Fas リガンド”

第170回 平成7年2月23日（木）

Dr. Jeremy A. Squire (University of Toronto)

“Fluorescence in situ hybridization for physical mapping and the study of chromosomal changes associated with cancer”

第171回 平成7年2月24日（金）

Prof. Michel Pierres (Centre d'immunologie, CNRS INSERM)

“CD26 : Structure and function relationship during mouse T cell development”

第172回 平成7年5月31日（水）

Dr. Yvonne Jones (Oxford University)

“The crystal structure of HLA-B53 peptide complexes”

第173回 平成7年6月5日（月）

谷 口 克 教授（千葉大・高次機能制御研究センター）

“胸腺外 T 細胞分化”

第174回 平成7年6月12日（月）

西 村 泰 治 教授（熊本大学大学院医学研究科）

“HLA class II 結合性ペプチドと T 細胞応答”

第175回 平成7年6月28日（水）

山 本 一 彦 教授（九大・生医研）

“免疫病における抗原特異的 T 細胞の役割”

第176回 平成7年6月29日(木)

Dr. Ryo Abe (Naval Medical Research Institute)

“CD28-mediated T cell costimulation : Significance for immune function”

第177回 平成7年7月3日(月)

Dr. Ming Xu (Massachusetts Institute of Technology)

“Genetic analysis of dopaminergic function in the central nervous system”

第178回 平成7年11月9日(木)

本 山 昇 先生(東京理科大学・生命科学研究所)

“細胞分化におけるアポトーシスと Bcl-x”

第179回 平成7年12月14日(木)

田 中 裕二郎 先生 (Centre d'Immunologie, CNRS INSERM)

“CD3 ϵ 欠損マウスにおける T細胞分化”